

2021年3月期第2四半期 決算説明資料

2020年11月6日



株式会社 **ダイセル**

目次

1. 2021年3月期 第2四半期決算	P. 3
2. 2021年3月期 通期業績予想	P. 7
3. コロナ禍に対する対応	P. 12
4. 次の成長に向けた取り組み	P. 16
5. 株主還元	P. 20
6. 参考資料	P. 21

2021年3月期 第2四半期業績

(単位：億円)

	20/3 2Q 実績	21/3 2Q 予想(※)	21/3 2Q 実績	前年同期比		予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,107	1,720	1,753	△ 353	△16.8%	+33	+1.9%
営業利益	179	50	91	△ 88	△49.0%	+41	+82.1%
経常利益	187	60	102	△ 85	△45.5%	+42	+69.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	117	15	33	△ 84	△72.0%	+18	+118.2%
為替レート USD/JPY	109	106	107				

新型コロナウイルスの影響により、自動車生産台数の減少をはじめ、様々な産業において需要が低下するなど、第2四半期累計期間の事業環境は大きく悪化しました。

このような環境の中、徹底したコストダウンに取り組んでまいりましたが、自動車エアバッグ用インフレーターや、エンジニアリングプラスチックの販売数量が減少したことなどにより前年同期比で減収減益となりました。

一方予想比では、売上高はほぼ予想並みとなりましたが、コストダウンの着実な実行と、コロナ禍に対応した経費削減などにより利益は予想を上回りました。

※ 2021年3月期第2四半期累計期間業績予想は2020年7月31日に発表した業績予想です。

セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

売上高	20/3 2Q 実績	21/3 2Q 予想 (※)	21/3 2Q 実績	前年同期比		予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
メディカル・ヘルスケア	78	70	78	△ 1	△0.8%	+8	+11.2%
スマート	129	100	103	△ 26	△20.0%	+3	+3.2%
セイフティ	398	270	272	△ 127	△31.8%	+2	+0.7%
マテリアル	551	490	493	△ 58	△10.5%	+3	+0.6%
エンジニアリングプラスチック	899	730	747	△ 152	△16.9%	+17	+2.3%
その他	52	60	61	+9	+17.7%	+1	+1.7%
合 計	2,107	1,720	1,753	△ 353	△16.8%	+33	+1.9%

営業利益	20/3 2Q 実績	21/3 2Q 予想 (※)	21/3 2Q 実績	前年同期比		予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
メディカル・ヘルスケア	10	5	8	△ 2	△21.8%	+3	+63.2%
スマート	23	6	10	△ 13	△55.0%	+4	+72.7%
セイフティ	24	△ 27	△ 17	△ 40	△170.9%	+10	+38.2%
マテリアル	79	67	75	△ 4	△5.6%	+8	+11.7%
エンジニアリングプラスチック	120	70	82	△ 38	△31.6%	+12	+17.5%
その他	3	8	9	+6	+179.4%	+1	+17.0%
全社	△ 81	△ 79	△ 77	+4	+5.1%	+2	+2.2%
合 計	179	50	91	△ 88	△49.0%	+41	+82.1%

※ 2021年3月期第2四半期累計期間業績予想は2020年7月31日に発表した業績予想です。

セグメント別 売上高・営業利益（前年同期比分析）

（単位：億円）

売上高	2020/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減	増減率	分析		
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	78	78	△ 1	△0.8%	+6	△ 6	△ 1
スマート	129	103	△ 26	△20.0%	△ 25	△ 1	△ 0
セイフティ	398	272	△ 127	△31.8%	△ 117	△ 10	△ 3
マテリアル	551	493	△ 58	△10.5%	△ 24	△ 33	△ 5
エンジニアリングプラスチック	899	747	△ 152	△16.9%	△ 128	△ 24	△ 7
その他	52	61	+9	+17.7%	+9	-	-
合 計	2,107	1,753	△ 353	△16.8%	△ 279	△ 74	△ 16

営業利益	2020/3 2Q実績	2021/3 2Q実績	増減	増減率	分析			
					数量影響	価格影響	価格影響の内 為替影響	その他
メディカル・ヘルスケア	10	8	△ 2	△21.8%	+1	△ 4	△ 0	+1
スマート	23	10	△ 13	△55.0%	△ 11	+10	△ 0	△ 11
セイフティ	24	△ 17	△ 40	△170.9%	△ 83	△ 3	+0	+46
マテリアル	79	75	△ 4	△5.6%	△ 15	△ 1	△ 3	+11
エンジニアリングプラスチック	120	82	△ 38	△31.6%	△ 50	+15	△ 3	△ 3
その他	3	9	+6	+179.4%	+6	-	-	-
全社	△ 81	△ 77	+4	+5.1%	-	-	-	+4
合 計	179	91	△ 88	△49.0%	△ 151	+16	△ 6	+47

事業の状況

当第2四半期累計期間は、各事業において、コロナウイルスの影響を大きく受けました。

メディカル・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の実消費者需要が減少。 キラル分離事業は、欧米での販売が減少も、中国・インドでの事業は好調。
スマート	<ul style="list-style-type: none"> フラットパネルディスプレイ市場の需要が減少。 半導体市場の需要は堅調。
セイフティ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数が減少。
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> 酢酸は需要が減少、市況も下落。酢酸市況の下落に伴い、酢酸誘導体の販売価格も低下。 たばこフィルター用トウは、コロナウイルスの影響でたばこの販売が減少も、海外主要顧客において原料確保の動きあり。 カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などは、欧州市場やLED向けなどの需要が減少。
エンジニアリングプラスチック	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数が減少。 スマートフォンの販売低調。

2021年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	20/3 実績	21/3 予想(※)	21/3 見直予想	前年度比		予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	4,128	3,860	3,680	△ 448	△10.9%	△ 180	△4.7%
営業利益	296	175	220	△ 76	△25.8%	45	+25.7%
経常利益	318	195	230	△ 88	△27.6%	35	+17.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	100	140	90	+181.2%	40	+40.0%
為替レート USD/JPY	109	106	106				

通期業績は前年度比で減収、営業利益は減益となる予想ですが、新型コロナウイルスの影響から徐々に回復すると見込んでいます。また、10月のポリプラスチックス完全子会社化により親会社株主に帰属する当期純利益の増益を見込んでいます。

期初予想比では、新型コロナウイルスの影響が当初予想よりも長期化することが見込まれますが、販売価格の維持・是正による原料価格低下メリットの確保、コストダウンの徹底などにより期初予想を上回る利益を見込んでいます。

※ 2021年3月期通期業績予想は、2020年7月31日に発表した業績予想です。

セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

売上高	2020/3 実績	2021/3 予想 (※)	2021/3 見直予想	前年度比		予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
メディカル・ヘルスケア	151	155	150	△ 1	△0.6%	△ 5	△3.2%
スマート	253	245	220	△ 33	△13.2%	△ 25	△10.2%
セイフティ	748	610	610	△ 138	△18.5%	-	+0.0%
マテリアル	1,094	1,045	990	△ 104	△9.5%	△ 55	△5.3%
エンジニアリングプラスチック	1,761	1,665	1,580	△ 181	△10.3%	△ 85	△5.1%
その他	121	140	130	+9	+7.6%	△ 10	△7.1%
合 計	4,128	3,860	3,680	△ 448	△10.9%	△ 180	△4.7%

営業利益	2020/3 実績	2021/3 予想 (※)	2021/3 見直予想	前年度比		予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
メディカル・ヘルスケア	13	5	12	△ 1	△10.4%	+7	+140.0%
スマート	34	25	22	△ 12	△34.3%	△ 3	△12.0%
セイフティ	33	0	12	△ 21	△63.7%	+12	-
マテリアル	158	130	133	△ 25	△15.9%	+3	+2.3%
エンジニアリングプラスチック	209	160	179	△ 30	△14.3%	+19	+11.9%
その他	8	15	16	+8	+96.6%	+1	+6.7%
全社	△ 159	△ 160	△ 154	+5	+3.0%	+6	+3.8%
合 計	296	175	220	△ 76	△25.8%	+45	+25.7%

※ 2021年3月期通期業績予想は、2020年7月31日に発表した業績予想です。

2021年3月期通期業績予想の前提

引き続きコロナウイルスの影響を受けるものの、下期は徐々に回復傾向に。

	市場環境	事業の状況・取り組み
メディカル・ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> ・下期も引き続き国内外で化粧品の需要が減少する見込み。 ・キラル分離事業は、下期にコロナウイルスの大きな影響はない見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1,3-BGの生産拠点複数化により、安定供給と拡販を行う。また引き続き、世界No.1品質を維持していく。 ・分析サービス事業及び標品・試薬事業で、新規製品・サービスの導入による中国・インド市場での売上増を目指す。
スマート	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイ市場は、7月以降回復傾向にあり年間で前年度比±0%の見通し。 ・半導体市場は、5Gの本格普及やデータセンターへの投資回復等により、年間で前年度比+3%となる見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶フィルム向け酢酸セルロースは、液晶用フィルム市場において他素材フィルムが伸長する中で、素材としての競争力を高め、既存顧客での高いシェアを維持すると共に、その他顧客へのシェア拡大を図る。 ・IC/半導体事業は、半導体の進化、市場拡大と共にEUV向けなど更なるレベルアップが要求される高純度・低メタル溶剤類やレジストポリマーの開発、販売を進める。 ・抗ウイルス/抗菌フィルム、フィルム型バイタルセンサ、非接触センサ用/VR機器用マイクロレンズなど、ウィズコロナ時代に向けた製品の提案を強化する。

2021年3月期通期業績予想の前提

	市場環境	事業の状況・取り組み
セイフティ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数は、年間で前年度比約20%減少の見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> インフレータの販売数量は、中国市場の早期回復と主要顧客向けの新規受注プログラム獲得による拡販により、10%未満の減少にとどめる。 コストダウン計画の着実な実行と経費削減の徹底により、収益改善を推進している。 中期の取り組みも進めており、カタログ化、品種統合に向けた新規インフレータの販売を来年度より開始する。 生産拠点統廃合は、23年完了に向け予定通り進捗している。 ガス発生剤の製法転換は24年度採用に向けて進捗中。

2021年3月期通期業績予想の前提

	市場環境	事業の状況・取り組み
マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・酢酸、酢酸誘導体の需要、市況は、下期も回復が見込めず上期並みとなる見通し。 ・世界のたばこ販売数量（中国除く）は年間で前年度比△6～△9%の見通し。 ・バイオプラスチック市場は、上期の落ち込みから、徐々に回復する見通し。 ・カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などは、下期に自動車用途は徐々に回復するものの、その他は上期から大きく状況は変わらない見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酢酸誘導体は市況が低迷するなかでも、販売価格の是正を図り、適宜値上げも実施する。溶剤の新規ユーザーへの拡販を進める。 ・拡販によるたばこフィルター用トウの販売数量維持及び、需要が伸びている加熱式たばこ向け高機能・高付加価値品の拡販を進める。 ・酢酸セルロースはバイオマスかつ生分解性素材として、パートナー企業と協業を進め、新規用途開拓、製品開発を図る。 ・カプロラクトン誘導体は特性を活かした有望用途を発掘、エポキシ化合物はリーディングカンパニーとして、高付加価値市場・用途拡大を図る。
エンジニアリングプラスチック	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車生産台数は、小型乗用車を中心に年間で前年度比約15%減少の見通し。 ・スマートフォン生産台数も、前年度比減少する見通し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足元は戦略価格によるPOMの販売拡大策を実施しつつ、スペックインビジネスの需要回復による販売機会を着実に捉え、製品供給をシフトしていく。 ・LCPの5G用インフラ、COCの医療向けなどコロナ禍でも需要の伸びが見込まれる市場への積極的な販売活動を実施する。 ・原料価格低下のメリットを着実に確保するとともに、コスト・経費の削減を徹底し、減益幅を圧縮する。

コロナ禍に対する対応

人々の生活様式やワークスタイル、企業活動やBCPに大きな変化が継続するものと考えております。今年度は当初から以下の三つの方針を示し、その確実な実行に努めてまいりました。

景気低迷に対する足元固め

- ・ 徹底したコストダウンと在庫の適正化
- ・ 不採算事業の撤退・不採算拠点の統廃合
- ・ テレワークの活用等働き方改革の挑戦

新型コロナウイルス対策への貢献

- ・ 新型コロナウイルスワクチン治験に向けて 当社投与デバイスを提供
- ・ ユーザーのコロナ対策製品用の新商材開発
- ・ 感染防止に貢献する商材や原料の供給

ウィズコロナへの対応・新秩序への備え

- ・ 新長期ビジョン・新中期戦略への織り込み、スタート年の1年延期
- ・ クロスバリューチェーン実現に向けた経営リスクの再想定
- ・ 顧客ニーズの激変に対して、 課題発掘型企业への脱皮の加速

景気低迷に対する足元固め ～徹底したコストダウン～

上期では、当初計画48億円に対して75億円（対計画：56%増）のコストダウンを達成しました。更に案件の積み増しを行い、引き続き取り組みを進めてまいります。

（単位：億円）

	2021/3 上期		2021/3 下期	
	当初計画	実績	当初計画	見直計画
メディカル・ヘルスケア	1	1	1	1
スマート	2	3	3	2
セイフティ	26	58	32	46
マテリアル	12	8	17	18
エンジニアリングプラスチック	7	6	6	5
合計	48	75	59	73

ここ数年は単価ダウンの影響がコストダウンの成果と相殺し、収益改善にブレーキをかけておりましたが、今年度は以下の対応によりその影響を極小化すべく努力しております。

- ・さらなるコストダウンの上積みを実施
- ・ここ数年取り組んできた製法転換の早期実装化
- ・供給過多に対する抜本的対策に着手

景気低迷に対する足元固め～不採算事業の撤退・拠点の統廃合～

防衛事業の撤退を決定し、予定通り進めております。

地産地消解消による原価低減、拠点統合による間接部門費削減を行います。

◇ 防衛事業の撤退

- ・戦力要員：145名 ⇒ 網干工場プラント増設、播磨工場新規商品のライン立上げなどの増員防止

◇ モビリティBUの拠点集約による競争力強化

- ・省人化：485名減（2023年3月期末）
- ・減損：141億円（2020年3月期）、24億円（2021年3月期）

【拠点集約による効果】

（単位：億円、効果基準年：2019年3月期実績）

		20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
収益改善 効果	投資を伴わない	0	2	9	10	11	15	16
	投資を伴う	1	4	8	18	47	45	44
効果合計		1	6	17	28	58	60	60
減価償却費		0	0	0	5	7	7	7

※投資総額65億円

新型コロナウイルス感染症対策への貢献

新型コロナウイルスワクチンの治験に向けて、投与デバイスとして当社開発のアクトランザ™ラボを提供しております。



“火工品の新機能の追求”

特長

少ない量で効き目アップ

- ・狙った部分に薬液を届ける
- ・当社の火工品技術を応用

⇒火工品新機能

(瞬間制御、安定作動、新型加速器)

期待できる応用例

遺伝子治療薬、ペプチド医薬、核酸医薬、
がんDNAワクチンなど

課題発掘型企业への脱皮

お客様の課題に対して「協創」の取り組みを強化し、
新事業開発の新しいスタイルとして取り組んでおります。

◇ ダイキン工業（株）様との取り組み

新エアフィルターの開発



“空気を2倍きれいに”

ナノファイバーでウイルス除去性能大幅アップ
⇒アセテートトウ製造技術で実現

換気装置のエレメント材料開発

⇒共同開発中

課題発掘型企业への脱皮

お客様の要求

変化するお客様のニーズを
双方で絶えず確認する
必要があった

双方向の人事交流により
お互いを知ることから

+

双方の経営トップ層による
ぶれないリーディング

ダイセルの総合力で解決

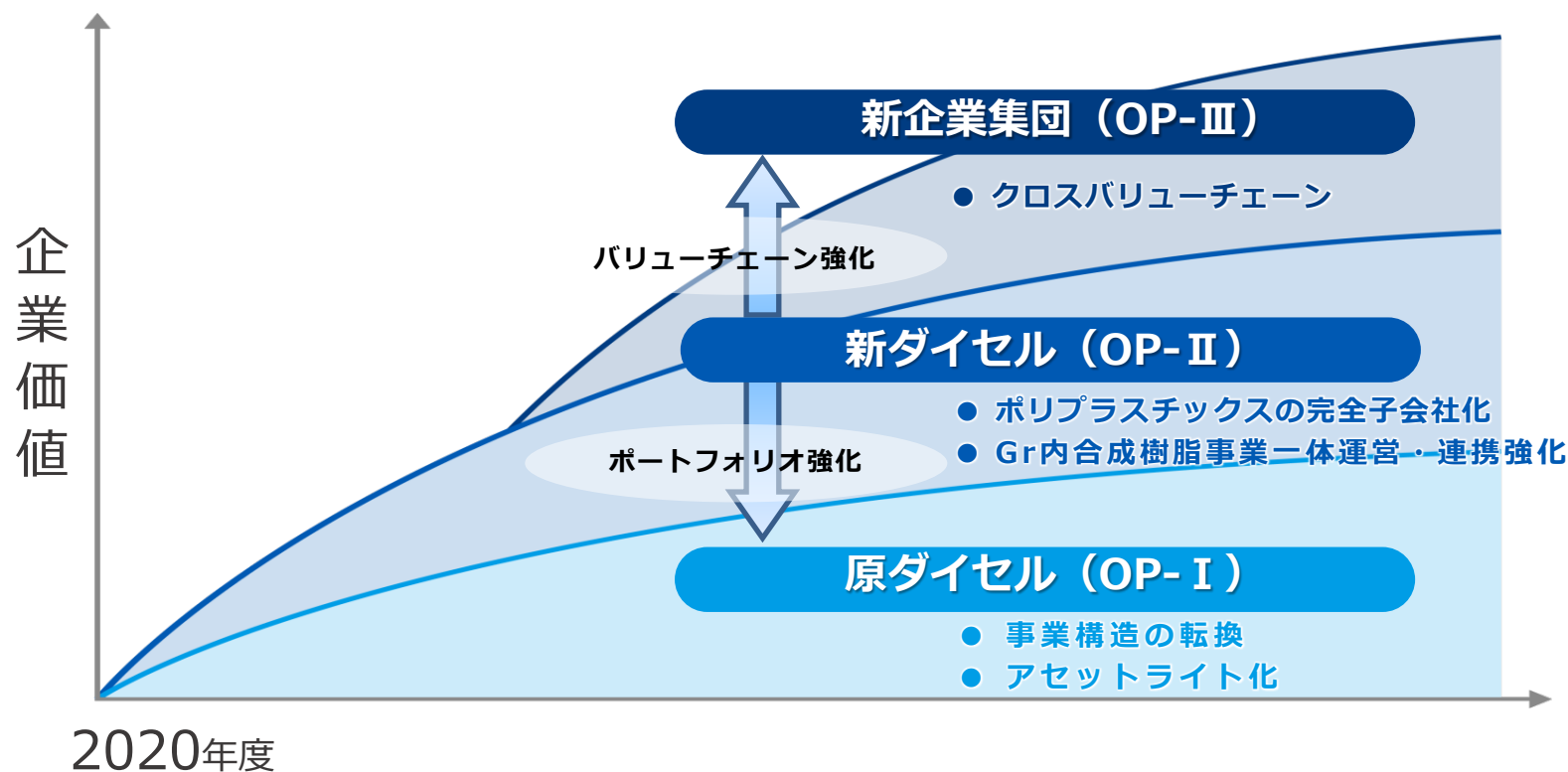
従来は1事業部門で対応 ⇒ 今回は複数部門で対応
(セルロース、フィルム、有機機能材料、
評価解析)

新中期戦略の「課題発掘型企业」実現のための
先駆け事例となった⇒目指す「協創」の取り組み

長期ビジョン・中期戦略

当社は、長期ビジョン「DAICEL VISION 4.0」において、原ダイセル（OP-I）、新ダイセル（OP-II）、新企業集団（OP-III）を定義し、この3つのオペレーションの着実な遂行により、企業価値を高めていくことを示しました。

今年度は中期戦略「Accelerate 2025」の初年度として、OP-I、OP-IIの着実な実行、OP-IIIの実行準備を進めています。



新ダイセル（OP-Ⅱ）実現に向けて

ポリプラスチック完全子会社化（2020年10月9日）

◇ グループシナジーの最大化に向けて

製・販・研を含むコーポレートの分野で分科会を設置し、アセットライト化の追求、ノウハウの共有を推進しています。

◇ スピード感のある意思決定により成長戦略を加速

COC（環状オレフィン・コポリマー）樹脂製造設備の新規増設を決定しました。ロイナ工業団地（ドイツ）に建設する新工場は2023年稼働予定です。



新企業集団（OP-Ⅲ）実現に向けて

自律型生産システムを開発

当社が2000年に完成させた「ダイセル式生産革新技术」で構築した「知的統合生産システム」を、東京大学と共同開発したAIを搭載する2種類のアプリケーションによって進化させました。

◇ 自律型生産システムの効果

- ・ 製造コストの大幅な削減を実現
- ・ 当社外を含めたサプライチェーン全体を包括する「バーチャルカンパニー（※）」を構築

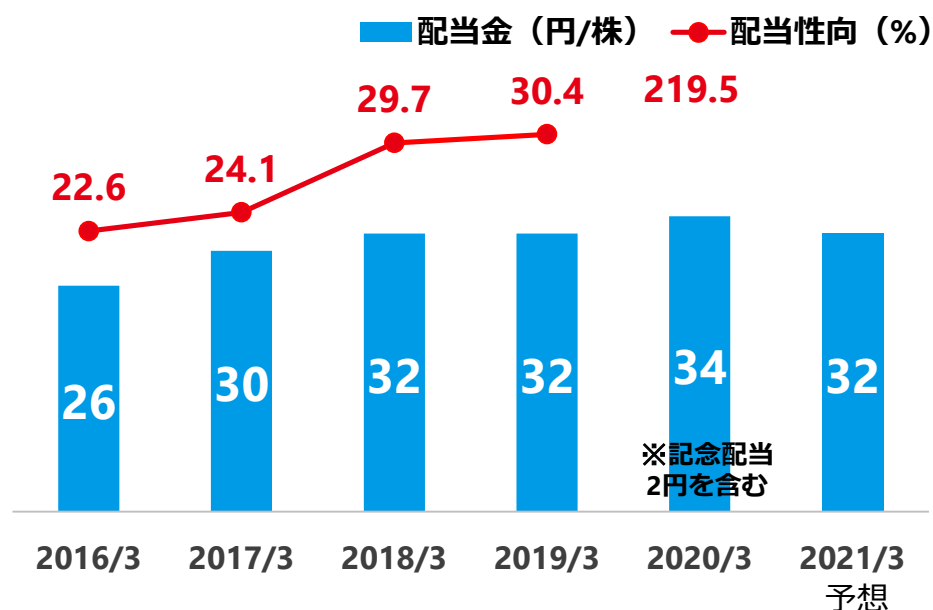
（※）市場を終点として連なるサプライチェーンを仮想的な一つの会社にとらえ、そのサプライチェーンごとに製品の調達、生産、販売といった機能や設備を保有しているとみなし、管理・経営する考え方です。

株主還元

2021年3月期

- 中間配当 16円/株（予想通り）
年間配当予想 32円/株（前回発表の予想から変更なし）
- 約968万株、83億円の自己株式を取得（取得期間：2020年4月～2020年7月）
※2019年11月～2020年7月に約2,146万株、約200億円取得の当期分
- 2020年9月に1,300万株の自己株式消却を実施（消却前発行済株式総数に対する割合 4.11%）

(円/株)	2020年 3月期	2021年 3月期
中間配当	16	16
期末配当	18 普通配当16円 記念配当2円	16（予想）
年間配当	34	32（予想）



参考資料

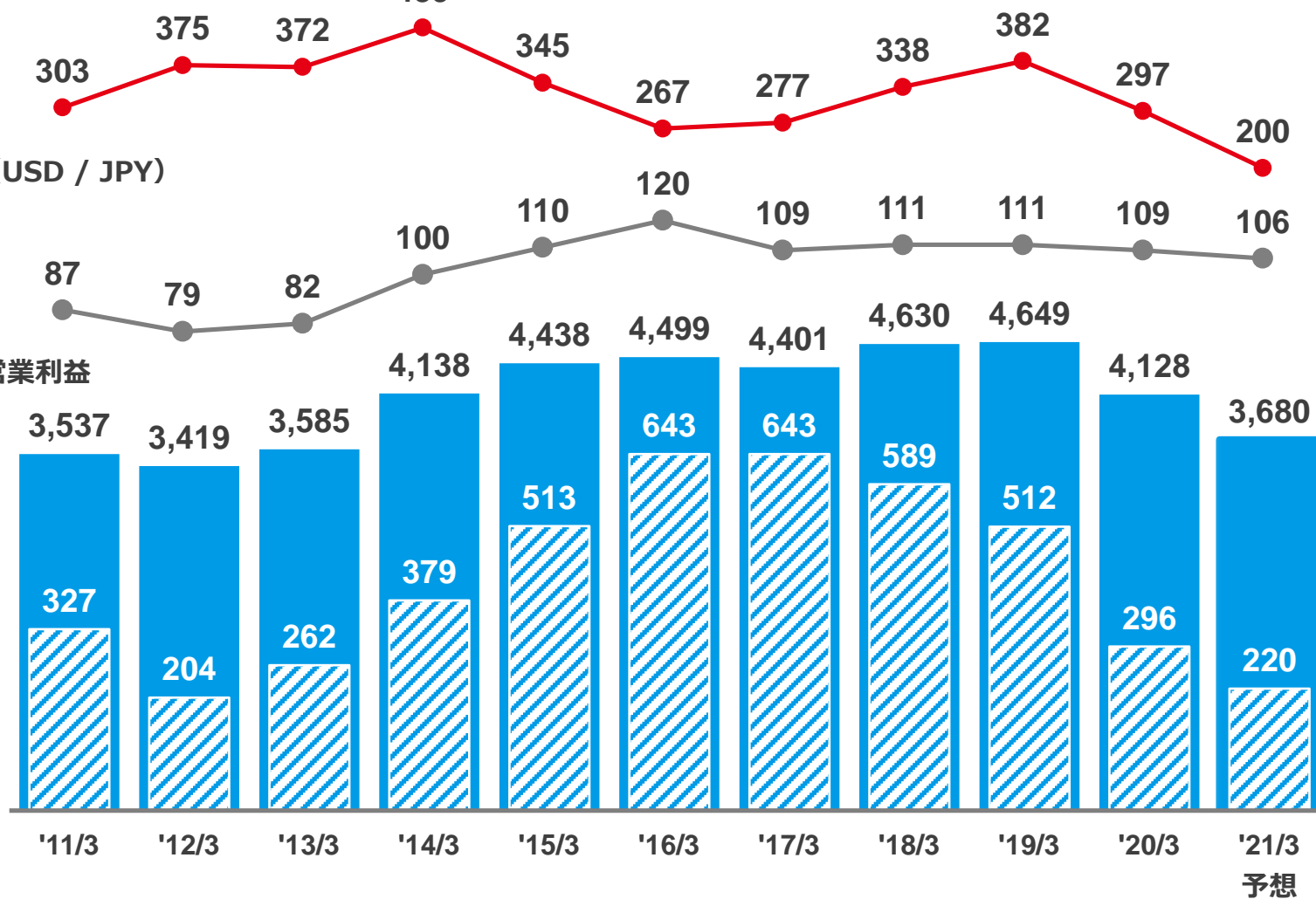
売上高・営業利益の推移・予想

(単位：億円)

● メタノールアジアスポット価格 (USD / ton)439

● 為替レート (USD / JPY)

■ 売上高 / 営業利益



連結貸借対照表

(単位：億円)

		2020年 3月末	2020年 9月末	増減	備考
流動資産		2,980	2,835	△ 145	
	現預金及び有価証券	814	813	△ 1	
	受取手形及び売掛金	795	730	△ 65	
	棚卸資産	1,174	1,101	△ 73	
	その他	197	191	△ 6	
固定資産		3,000	3,057	+57	
	有形固定資産	2,043	2,068	+25	新規取得+154、償却△114、その他△15
	無形固定資産	134	125	△ 9	
	投資その他資産	822	863	+41	
資産合計		5,980	5,892	△ 88	
負債		2,054	2,082	+28	
	有利子負債	928	1,081	+153	
	その他	1,126	1,001	△ 125	
純資産		3,926	3,810	△ 116	自己資本比率 60.1%
負債純資産 合計		5,980	5,892	△ 88	

連結損益計算書

(単位：億円)

	2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減	増減率	備考
売上高	2,107	1,753	△ 353	△ 16.8%	
売上総利益	586	474	△ 113	△ 19.2%	
販売費及び一般管理費	408	383	△ 25	△ 6.1%	
営業利益	179	91	△ 88	△ 49.0%	
営業外損益	8	11	+3	+32.4%	
経常利益	187	102	△ 85	△ 45.5%	
特別損益	18	△ 18	△ 35	△ 199.5%	減損損失△ 15
税金等調整前 四半期純利益	204	84	△ 120	△ 58.9%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	117	33	△ 84	△ 72.0%	
営業利益率	8.5%	5.2%	△ 3.3%		

連結キャッシュ・フロー計算書

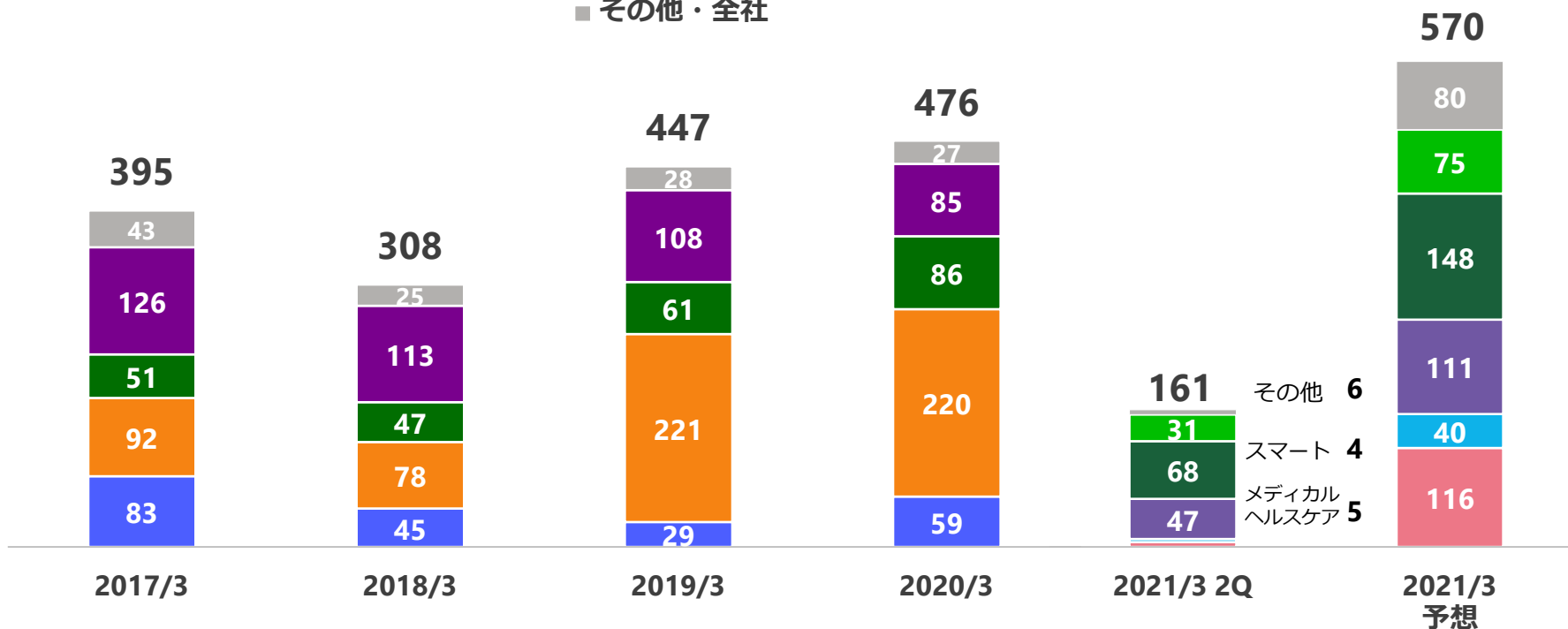
(単位：億円)

		2020/3 2Q	2021/3 2Q	増減	備考
	営業キャッシュ・フロー	353	219	△134	税金等調整前四半期純利益△120
	投資キャッシュ・フロー	△292	△181	+111	有形固定資産取得による支出+128
フリーキャッシュフロー		61	37	△24	
財務キャッシュ・フロー		△182	△43	+139	長期借入による収入+140
その他		△23	2	+24	
現金及び現金同等物の増減額		△143	△4	+139	
現金及び現金同等物の当期末残高		1,057	803	△254	

設備投資額

(単位：億円)

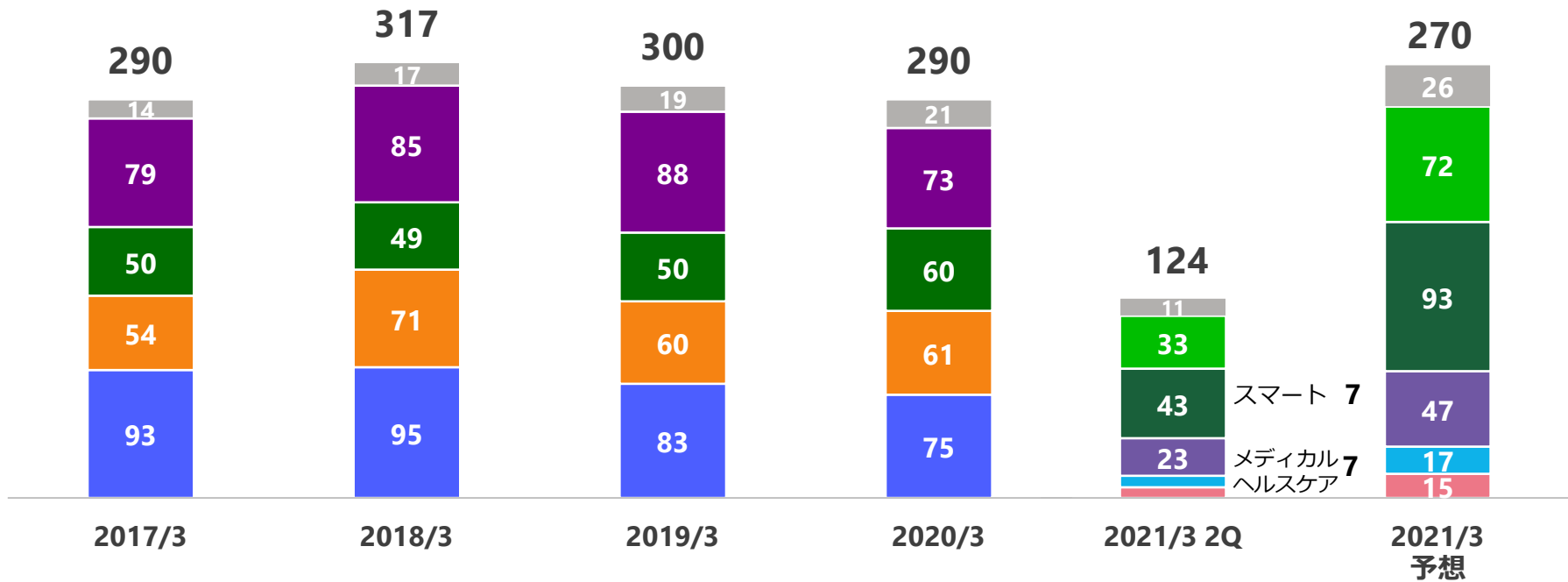
- セルロース
- 有機合成
- メディカル・ヘルスケア
- スマート
- 合成樹脂
- 火工品
- セイフティ
- マテリアル
- エンジニアリングプラスチック
- その他・全社



減価償却費

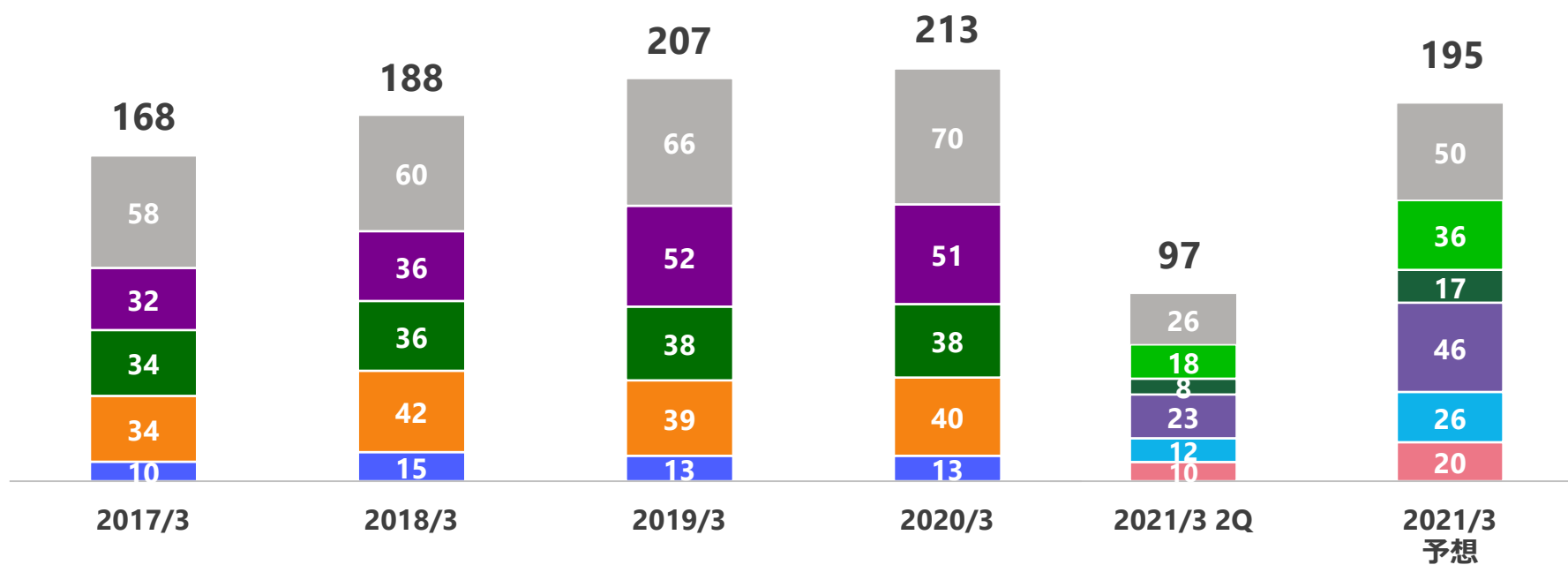
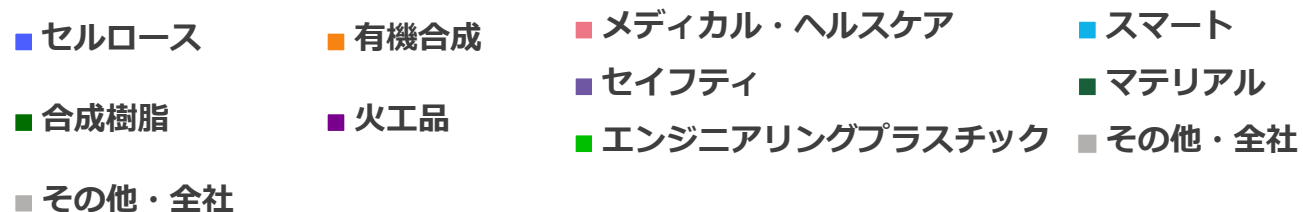
(単位：億円)

- セルロース
- 有機合成
- メディカル・ヘルスケア
- スマート
- 合成樹脂
- 火工品
- セイフティ
- マテリアル
- その他・全社
- エンジニアリングプラスチック
- その他・全社




研究開発費

(単位：億円)



2021年3月期通期業績見通し

(単位：億円)

		2021/3 前回予想 (※)			2021/3 見直予想			増減
		上期予想	下期予想	年間	上期実績	下期予想	年間	
	メディカル・ヘルスケア	70	85	155	78	72	150	△ 5
	スマート	100	145	245	103	117	220	△ 25
	セイフティ	270	340	610	272	338	610	-
	マテリアル	490	555	1,045	493	497	990	△ 55
	エンジニアリングプラスチック	730	935	1,665	747	833	1,580	△ 85
	その他	60	80	140	61	69	130	△ 10
売上高		1,720	2,140	3,860	1,753	1,927	3,680	△ 180
	メディカル・ヘルスケア	5	0	5	8	4	12	+7
	スマート	6	19	25	10	12	22	△ 3
	セイフティ	△ 27	27	0	△ 17	29	12	+12
	マテリアル	67	63	130	75	58	133	+3
	エンジニアリングプラスチック	70	90	160	82	97	179	+19
	その他	8	7	15	9	7	16	+1
	全社	△ 79	△ 81	△ 160	△ 77	△ 77	△ 154	+6
営業利益		50	125	175	91	129	220	+45
経常利益		60	135	195	102	128	230	+35
親会社株主に帰属する当期純利益		15	85	100	33	107	140	+40

※ 2021年3月期通期業績の前回予想は、2020年7月31日に発表した業績予想です。


前提条件

		2020/3		2021/3			
		上期実績	下期実績	上期 当初計画	下期 当初計画	上期実績	下期 見直計画
為替レート (USD/JPY)		109	109	105	105	107	105
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	277	245	220	220	205	200
	原油 ドバイ (USD/bbl)	64	56	25	25	37	45
	国産ナフサ (円/kl)	42,800	42,700	19,000	19,000	27,500	30,000

2021年3月期以降 開示セグメントの概要

新セグメント／組織		主な製品／旧セグメント		
メディカル・ヘルスケア	ヘルスケアSBU	コスメBU 健康食品BU	化粧品原料（1,3-BG、ポリグリセリン類） 健康食品（エクオール、セラミド）	有機合成
	CPIカンパニー	Analytical Tools BU	キラルカラム、高純度キラル試薬	
	事業創出本部	新事業開発部	製剤ソリューション（プレミックス添加剤）	その他
スマート	スマートSBU	ディスプレイBU	液晶保護フィルム用酢酸セルロース	セルロース
		IC/半導体BU	高機能光学フィルム	合成樹脂
		センシングBU	半導体レジスト、電子材料向け溶剤	有機合成
			光学デバイス、有機半導体デバイス	その他
セイフティ	セイフティSBU	モビリティBU	樹脂コンパウンド製品（自動車用途）	合成樹脂
		インダストリーBU	自動車エアバッグ用インフレーター	火工品
			イニシエータ、PGG、民生用火工品	
マテリアル	マテリアルSBU	アセチルBU	酢酸セルロース（液晶保護フィルム用途以外） たばこフィルター用アセテート・トウ	セルロース
		ケミカルBU	酢酸、酢酸誘導体	有機合成
			エポキシ化合物、カプロラクトン誘導体、各種化学品	
エンジニアリングプラスチック	ポリプラスチック ダイセルミライズ DMノバフォーム ダイセルパックシステムズ		エンジニアリングプラスチック	合成樹脂
			樹脂コンパウンド製品（自動車用途以外）	
			樹脂成型加工品（シート、食品包装用フィルム）	セルロース
			水溶性高分子	
その他	ダイセンメンブレンシステムズ		メンブレン製品	その他
	セイフティSBU	特機事業部	防衛関連製品	火工品

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。